

## 令和8年度「剣道一種・二種」審査会 実施要項

1. 主催 一般財団法人 北海道剣道連盟
2. 主管 各開催剣道連盟(一種審査)
3. 期日 別記「令和8年度審査会一覧表」参照
4. 会場 別記「令和8年度審査会一覧表」参照
5. 受審資格 (1) 第一種  
別に定める第一種受審者講習会を受講し、講習会で実施する学科審査に合格した者。(1年以内)  
ア. 初段 剣道一級受有者で満13歳以上の者。(中学生は一級受有後6ヶ月以上経過している者)  
年齢基準は、審査会当日とする。  
イ. 二段 剣道初段受有者で、受有後1年以上経過した者。  
ウ. 三段 剣道二段受有者で、受有後2年以上経過した者。  
剣道二段受有し、年齢満65歳以上で、受有後1年以上経過した者。  
エ. 審査会において、不合格になった者は1ヶ月以上経過しなければ次の受審をすることが出来ない。  
(2) 第二種  
ア. 四段 剣道三段受有者で、受有後3年以上経過し、剣道講習会を申請時までに2回以上受講し講習会で実施する学科審査に合格した者。  
剣道三段受有し、年齢満65歳以上で、受有後2年以上経過し、剣道講習会を申請時までに2回以上受講し講習会で実施する学科審査に合格した者。  
イ. 五段 剣道四段受有者で、受有後4年以上経過し、剣道講習会を申請時までに3回以上受講し講習会で実施する学科審査に合格した者。  
剣道四段受有し、年齢満65歳以上で、受有後2年以上経過し、剣道講習会を申請時までに3回以上受講し講習会で実施する学科審査に合格した者。  
※ 学科試験 学科試験問題は、全日本剣道連盟発行の「剣道学科審査の問題例と解答例」の冊子から2問及び回答例にない設問の合計3問を出題する。  
剣道二種審査のカウントは、原則として有効期限を5年以内とする。  
(3) 経過年数は暦月で数え、日は問わない。  
(4) 再受審  
過去1年以内の審査会における実技合格者で、剣道形が不合格の者。ただし、不合格日より1ヶ月(30日以上)の経過を必要とする。
6. 審査方法 全日本剣道連盟の称号・段位審査規則及び、北海道剣道連盟の称号・段位審査規程による。
7. 審査科目 (1) 第一種 ※初段の受付は午前、二段および三段の受付は午後とするが、審査会場により変更があり得るため  
主管剣連の発出する開催要項に従うこと。  
ア. 日本剣道形 (初段は太刀の形5本、二・三段は太刀の形7本)  
イ. 実技 (切り返しから打ち込み稽古・互格稽古)  
ウ. 剣道形、実技を含めて合格者を発表する。  
(2) 第二種 ※受付時間は、四段は8時30分から9時15分まで、五段は11時30分から12時15分までとする。  
審査は高齢の者から行う。  
ア. 日本剣道形 (太刀の形7本、小太刀の形3本 合計10本)  
イ. 実技 (互格稽古)  
ウ. 剣道形、実技を含めて合格者を発表する。  
(3) 再受審  
上記「第一種」及び「第二種」の審査科目に従う。(別記「剣道段位審査の再受審手続き」参照)
8. 申込方法 (1) 第一種  
ア. 受審者は「段位審査申請書」正・副2通を作成し、「審査料」、「登録料」及び「地域剣道振興会費」を添え所属剣道連盟に申し込むこと。  
イ. 各剣道連盟は受審者の「段位審査申請書、正・副」、「審査料」、「登録料」「地域剣道振興会費」を取りまとめ期限(主管剣道連盟に確認)までに主管剣道連盟に送付すること。  
ウ. 主管剣道連盟は「段位審査申請書、正」を取りまとめ一括して締切期日までに北海道剣道連盟事務局に送付すること。なお、個人直接の申込及び期限後の申込は一切受理しない。  
エ. 受審者は、2ヶ所同時に申し込むことはできない。

(2) 第二種

ア. 受審者は「段位審査申請書」正1通を作成し、「審査料」及び「地域剣道振興会費」を添え所属剣道連盟に申し込むこと。（「登録料」は不要）

イ. 各剣道連盟は受審者の「段位審査申請書、正」、「審査料」、「地域剣道振興会費」を取りまとめ期限までに北海道剣道連盟事務局に送付すること。個人直接の申込及び期限後の申込は一切受理しない。

(3) 再受審は、別記「剣道段位審査の再受審手続き」による。

(4) 「段位審査申請書」の様式は、別記による。

(5) 「段位審査申請書」記載上の注意

ア. 男女の区分、現段(級)位取得年月日を正確に記入すること。未記入のものは受理しない。

イ. 住所が町村である者は、「郡名」を記載すること。

ウ. 現段位を他都府県で取得した者は、「全剣連番号」を必ず記入すること。

(全剣連番号が確認出来たら証書の写しの添付は必要なし。)

※ 1級を他都府県で取得した者は「証書の写し」又は都府県剣道連盟発行の「級位証明書」の添付が必要。

9. 審査・登録料の取扱い

(1) 審査料・登録料等については、「北海道剣道連盟 称号・段級位審査規則 別表1」による。

(2) 第一種不合格者には、「登録料」を審査会当日返納する。

(3) 第二種合格者は、所定の登録料を所属剣道連盟に納入すること。各剣道連盟は合格者分の登録料を取りまとめて北海道剣道連盟に納入すること。

(4) 道剣連締切り日以降の取消しの申し出に対しての「審査料」の返金はしない。但し、自然災害及び指定感染症についてはその限りではない。

10. 審査結果 第一種不合格者に審査指導カード「今後努力してほしい要点」を提供する。

11. 個人情報保護法への対応

参加者の個人情報は、本事業の運営に必要な範囲において利用する。

なお、事業の目的に応じ、ホームページ及び「剣友北海道」等の媒体に掲載することがある。

また、普及・発展のため、報道機関へ必要な情報を提供することがある。

12. その他

(1) 主催者で傷害保険に加入するが、これ以上の責任は負わない。

(2) 受審者は、所属剣道連盟に申し込み受理の確認をすること。

別記

「剣道」 段位審査の再受審手続き

1. 審査会の剣道実技合格者で、日本剣道形の不合格者は再受審を認める。

不合格者は手続きに必要な「再受審票」北海道剣道連盟宛の「申込ハガキ」、「審査会一覧表」を確認して受け取ること。

2. 再受審手続

(1) 再受審の日時、会場は、剣道第一種及び第二種とも審査不合格より1ヶ月(30日)以上経過後の北海道剣道連盟主催の剣道審査会とする。なお、第一種、第二種の審査会に関係なく再受審できる。

(第一種の会場で第二種の再受審が可能)

(2) 再受審の有効期間は、審査不合格日より1年以内とし、回数は1回限りとする。

(3) 再受審希望者は、受審希望会場の実施日2週間前までに、北海道剣道連盟事務局に「申込ハガキ」により申し込むこと。

(4) 審査会当日は、「再受審票」を受付に提示、再審査料を納入し、受審番号及び受審票の交付を受けること。

(5) 再受審者の受付時間

「申込ハガキ」が到達後、審査会の時間配分等の調整があるため別途再受審者に通知する。

(6) 再受審料は、1,000円とする。

(7) 再受審当日は、第一種、第二種とも登録料を持参すること。